

# 埼玉アートシアター通信

NO.

# 28

SAITAMA ARTS THEATER PRESS

2010.7-8月号

【NINAGAWA 千の目<sup>まなざし</sup>】

彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督・演出家

俳優

## 蜷川幸雄 ✕ 松本幸四郎



SAITAMA  
GOLD THEATER



財団法人 埼玉芸術文化振興財団



“船上”で本公演をスタートしたゴールド・シアターの旗。この秋目指すのは何と「聖地」。エネルギーに、時にメランコリックに、舞台は踊る。(過去の公演より)

INDEX

ESSAY バットシェバ舞踊団『MAX』 — 井手茂太 03

TALK NINAGAWA 千の目<sup>チノメ</sup> — 松本幸四郎 × 蜷川幸雄 04

SPECIAL 4つの顔をもつ  
 8月→12月の蜷川幸雄の世界 07

彩の国ファミリーシアター 音楽劇

『ガラスの仮面 ～二人のヘレン～』 — 大和田美帆・細田よしひこ 08

さいたまゴールド・シアター『聖地』 — 松井 周 10

彩の国シェイクスピア・シリーズ

『じゃじゃ馬馴らし』 — 市川亀治郎・笈 利夫 12

DANCE 『dancetoday2010』 — 伊藤郁女、KENTARO!! 14

COLUMN Music Salon 16

ドヴォルジャークと交響曲第9番《新世界から》  
 マーラーと交響曲《大地の歌》

TOPIC 劇場で遊ぼう、体験しよう! 18

REVIEW 2010.5-6月の彩の国のアーツ 19

MUSIC エマニュエル・パユ & クリスティアン・リヴェ 20

MUSIC 庄司紗矢香 & ジャンルカ・カシオーリ 22

EVENT CALENDAR & TICKET INFORMATION 24

THEATER BRIDGE 27

劇場に集う、劇場で働く 舞台監督【技術スタッフ】 28



【振付】オハッド・ナハリン 【出演】バットシェバ舞踊団 4月15日(木)～17日(土) 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

©池上直哉

バットシェバ舞踊団『MAX』2010年4月15日

井手茂太



©Mina OGATA

い、しげひろ◎ダンスカンパニー「イデビアン・クルー」主宰。カンパニーの作品発表をベースに、演劇作品への振付やステージング、PV・CMの振付など、幅広く活動。日常の中に紛れ込む、ふとした身振りや視線を丁寧に抽出しつつ、出演者の個性を最大限に活かす独自の振付手法は、国内外から高い評価を得ている。主な作品に「関係者」「政治的」「排気口」「採発スタア」など。2004年「AMERICAN」の振付で、振付家として初めて読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞。

鑑賞前にあまりパンフレットを読まず感覚的に見るのが僕の癖なのだけど、今回もそんな感じでイスラエルのバットシェバ舞踊団の作品を初めて拝見。舞台上が暗くなり男性の低い声で呪文?みたいな感じで数をかぞえているのが聞こえてきた。日本語で言うところ、「イチ、ニ、サン、…」と言っているのだろうか。しかし僕は「羊が一匹、羊が二匹、羊が三匹…」と勝手に想像して夢の中へ入りそうになった。本当に寝てしまったのではない。その男性の低音のきいた声で次々とポーズしていくダンサー。早くもなく遅くもなく丁度いいスピードで段々と構成が変化してはダイナミックな動きに発展していく。舞台上では緑色と赤色の照明の明かりが左右片方ずつダンサーの体にあたっていて、まるで分子みたいなものが目から入ってきて頭の中の色々な場所でダンサー達が踊りだしている感じがして心が弾んだ。子供の頃、緑色と赤色の左右違うおもちゃの眼鏡をつけて見る飛び出す漫画の本が不思議に思えて何度となく楽しく遊んでいたことを思い出す。今でいうところの3Dでしょう。ここでの眼鏡をかけて鑑賞してみたらダンサー達が自分の目の前に飛び出して見えるのかなあ、とまた勝手な想像しながら数字の国の余韻にひたっていたら、舞台中央に集まってきたダンサー達自身が一斉に発した声に八つと我に返る。なんか心地よい眠りとか、すごくいい夢見た朝を迎えた感じで清々しい感触。鑑賞後始めてパンフレットに目を通してみた。思い出しながら改めておもしろい作品だったんだと、また心が弾んだ。



# 松本幸四郎

俳優

# 蜷川幸雄

彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督・演出家

公開対談シリーズ第21回  
**NINAGAWA 千の目**

熊谷会館スペシャル

舞台上に登場しただけで華やいだ雰囲気と圧倒的な存在感がある松本幸四郎さん。蜷川さんとの初めての出会いは、何と蜷川さんの「俳優時代」、そして幸四郎さんがまだ「染五郎」を名乗っていた10代のころのNHKテレビの時代劇での共演。以来、蜷川演出で幾多の名舞台を飾った幸四郎さん。7月15日の熊谷会館での松竹大歌舞伎をひかえて、久しぶりの対面に話も弾んだ。

Photo: 細野晋司

白いハンカチが、  
白い光の玉に見えてきた……

**蜷川(以降N)** 幸四郎さんと出会わなかったら、今日の僕はいない。そのぐらい影響が大きい俳優さんです。初めて一緒した舞台は、『ロミオとジュリエット』で、日生劇場でした。稽古で、俳優たちがまじめにやらないので頭にきて、物をぶつけたりしていましたが、幸四郎さんが初めて登場するシーンで草を持って通路を歩いていくのですが、終わったら稽古場がわーっと拍手しました。何てすごいだろうと思って、幸四郎さんのとりこになりました。

**松本(以降M)** 蜷川さんは、それまでの学問的といいますか、シェイクスピア学とか教養とかいうジャンルにあった日本のシェイクスピア劇を、初めてお芝居、おもしろ

いらしたアメリカ人のご婦人が、ばちんとハンドバッグを開けて、真っ白なハンカチで目頭をぬぐっていました。そしてハンカチを胸に抱いて、涙をこぼしながらじっと私の英語のせりふを聴いている。ご婦人の胸に抱かれた白いハンカチが、白い光の玉に見えてきました。「ああ、何だ、自分は日本人として英語でブロードウェイで主演をすとか、27歳の役者が初めてやるとか、そういうことではない。僕はこの気持ちを味わうために……」と、ずっとその白い光の玉に吸い込まれていった一瞬がありました。

日本のお客様ですと、沖縄の女子大生の方からはがきをもらったことがありました。その方のお父さんが東京で仕事をしているとき、私の父(白鷗)の弁慶が好きで、『勸進帳』を歌舞伎座の3階から毎日観ていらっしやっただけです。その後、沖縄に戻られたが体を悪くして、東京へ行けなくなった



## 夢とは、夢をかなえようとするその人の心意気 その心意気さえあれば、夢はかなう

い演劇になさった方だと思います。その力量を今や日本ばかりではなく、世界にまで広げられたということは本当にすばらしいことです。

**N** でも幸四郎さんほど海外で活躍されてきた歌舞伎俳優はいませんよね。

**M** 自分でやろうと思ったことはほとんどありません。『王様と私』というミュージカルも、イギリスのプロデューサーから突然お話をいただきました。もちろん英語で、向こうのカンパニーと一緒にです。イギリス各地を回り、半年間で207ステージやりました。

**N** 大変なことですね、半年イギリスを回っているというのは。ブロードウェイでは『ラ・マンチャの男』ですか。外国のお客様を前にして、印象深いことってありましたか。

**M** 『ラ・マンチャの男』は、最後にドン・キホーテになって死んでいくラストのシーンで、『見果てぬ夢 Dream the impossible dream』という歌があり、一番前に座って

ので、ぜひ沖縄で『勸進帳』を観てほしいということでした。そのときに、観たいという方のそばに行って歌舞伎をばらにされるのも歌舞伎役者の務めだと思い、全国巡演を考えるようになりました。巡演はいろいろな体験ができるので好きです。お年を召したご老人が楽屋にいられて、「私は三代見だよ」と。祖父、父、私の弁慶を観たという方にお会いしたり、劇場への道を歩いていますと、上のほうから「幸四郎！」と声がかかります。見上げると、電信柱に上っている電気工の方が、黄色いヘルメットにナッパ服を着て、工事をしながら「松たか子、いいね。おやじも頑張れよ」なんていう声をかけてくれます。

**N** 僕も同じようなことを言われるよ。(笑)

**M** 蜷川さんが、ある女優さんに演出をつけているときに、「相手役のどこを見ている、目を見ろ。しかも目の中の黒いごまみみたいなものを見つめろ」と言っていました。役者にとって一番大事なことは観察力で、人間を観察する興味がなくなったら、役者はや

めたほうがいいと僕は思っているくらいです。そのときの蜷川さんの演出は、本当にその人の役者の感性を引き出してくれる名演出でした。

**N** 戯曲というお父さんと、俳優というお母さんがいて、2人は演劇という子供を生むために結婚している。演出家というのは、「頑張れ頑張れ」と言って妊婦を励ましたり、赤ちゃんが生まれたら、「ああ、よかったね」と言うお産婆さんだと思っています。スタッフや俳優の皆さん、制作も含めて全員が掛け算になるような空気をつくれないということが、大きな仕事です。そういう意味でいえば、妊婦さんをじっと静かになでながら、いい子が生まれると一番いいのですが、なかなかそうもいかず、時におしりもたたき、つねることもあります。

**M** 今日はせっかくこういう席を設けていただいたので、蜷川さんの演出を受けて俳優として感じたこと、それから奈良の大仏様のお言葉(笑)、その二つをお話しようと思います。

TALK



## 蜷川演出の妙と、奈良・東大寺での大仏様の声

まず蜷川さんの演出を受けているうちに得たことは、芝居という、やはりせりふです、声です。感動を与えるせりふはどうしたら言えるようになるかということを考え、自分なりにつかんだのは、せりふを言う上で一番大事なことは、のどでもなく、いわんや呼吸法でも発声法でもなく、耳だということです。すべての音は耳から入ります。幾らベルカントだ、やれ発声法だ、腹式呼吸だやっても、耳を鍛えないうちはいい歌も、いいせりふも言えない。

もう一つあります。すばらしい最高の踊り、最高の歌。最高の踊りとは、きれいなだけ、うまいだけの踊りでもなく、観ている人が思わず踊りたくなるような踊り。歌は、美声の歌でも、大きな声の歌でも、テクニックを駆使した歌でもなく、聴いている方が思わず歌いたくなるような歌。僕は蜷川演出を通してそういうことを感じたので、自分なりにそれ以降の演技に生かそうと思いました。

そして、奈良の大仏様の声です。1,000回目の『勸進帳』を東大寺でさせていただ

たとき、春日山から鹿の声が聞こえてきました。夕闇が迫ってきて、富樫の攻めから逃れた弁慶に、主君の判官が大変だったであろうとねぎらいの手を差し伸べ、弁慶が落涙をするシーンで、ゴーンと二月堂の鐘が鳴りました。この奈良の演出家は蜷川幸雄かと思ったくらい、いいタイミングで。

N 偶然なの？

M 偶然。そして鹿の声が聞こえて、僕は「大仏殿を背にしていたので見えなかったのですが、お客さんは全員、大仏殿の響のかなたから、満月が上がったのが見えたそうです。そのとき、大仏様からお言葉をいただきました。「人を傷つけたり、人を中傷したり、悪口を言ったりすることはだれにでもできる。しかし、人に感動を与えることはなかなかできない。そのなかなかできないことをおまへは商売にしている。これからも心して励め」と。

最後に、『ラ・マンチャの男』というミュージカルから得た自分の言葉をお送

りして蜷川さんにお礼を申し上げたいと思います。

夢とは、ただ夢見るだけのものでもなく、ただ語るだけのものでもなく、夢を、夢をかなえようとするその人の心意気だ。その心意気さえあれば、夢はかないます。

N ありがとうございます。(拍手)



松本幸四郎 Koshiro Matsumoto

俳優。昭和17年8月、八代目松本幸四郎の長男として生まれる。21年初舞台。56年10月歌舞伎座にて九代目松本幸四郎を襲名。当り役に『勸進帳』の弁慶、『忠臣蔵』の由良之助、『寺子屋』の松王丸等。45年『ラ・マンチャの男』、平成2年『王様と私』で日本人として初めてブロードウェイとウエストエンドで主演を果たす。蜷川作品では49年『ロミオとジュリエット』、50年『リア王』、51年『オイディプス王』そして平成6年には『オセロー』を演じ高い評価を得た。日本芸術院会員。

『ヘンリー六世』『ムサシ』の感動いまだ、という2010年もいよいよ後半。蜷川ワールドはますます熱く、いずれも趣向の違う4作がほぼ毎月連続して、その幕開けを待つ。

# 4つの顔をもつ 8月 → 12月の 蜷川幸雄の世界

8月

彩の国ファミリーシアター 音楽劇

『ガラスの仮面 ～二人のヘレン～』

舞台上大雨を降らせ、演劇的スペクタクルも盛りこんだ第1弾だったが、大好評の声にお応えしての続編。音楽もふんだんにご家族と、お友達とお楽しみください。

9月

さいたまゴールド・シアター

『聖地』

早くも結成5年目、第4回は、さらに若返って37歳の気鋭、松井 周の書き下ろし。30代の挑戦に平均年齢71歳、42人のゴールドのメンバーが応える群像劇です。

10月

彩の国シェイクスピア・シリーズ

『じゃじゃ馬馴らし』

久しぶりのオールメールのシェイクスピア。さいたま芸術劇場初登場の市川亀治郎、寛 利夫を中心に、個性的な面々が顔を揃える。笑いげはじける喜劇に乞うご期待。

12月

さいたまネクスト・シアター

『美しきものの伝説』

旗揚げ公演『真田風雲録』で早くも話題をさらったネクスト・シアターの第2弾は、1968年に書かれた宮本 研の傑作戯曲に挑みます。



FROM NINAGAWA

近代の変革期の若者群像を継承する

1968年に現代人劇場という劇団をつくって、みんな文学座の初演を観に行っただけで、それがすごくよくて、新劇も馬鹿にできないなど言いながら、おれたちももっとすごいをつくらうと語ったことを思い出す。ネクストの若手もそれに匹敵するぐらい、リアルな演劇をつくり、きちんと演劇として継承できるかということを知りたい。俳優養成所の発表会じゃなく、れっきとした公演だからね。

# さらにパワーアップ、どこまで進化するのか、ガラかめ!

いよいよ待望の続編が登場する『ガラスの仮面』。初演ではマヤの成長物語と共に、演劇そのものの魅力がストレートに観客の心に響き、深い感動を呼んだ。前回に続きマヤを演じる大和田美帆と、今回新たに桜小路 優役として参加する細田よしひこに、稽古を前にした心境を聞いた。

取材・文：市川安紀[ライター] Photo：青柳聡

国民の人気コミックの舞台化、しかも役柄は「天才演劇少女」。注目の高さと同時にリスクも高かったはずだが、大和田美帆は原作ファンをも納得させる「北島マヤ」を真っ直ぐに演じ切った。全身から放つポジティブなパワーが、ひたむきに芝居への情熱をぶつけるマヤにびたりと重なったのだ。「本番までマヤの気持ちがあつかいにくく不安なままでした。どうしても家庭環境が似ている亜弓さんの気持ちしか理解できなくて。しんどかったですね。でも舞台上でマヤが『ひとりじゃない』と歌うシーンで、お客さん一人ひとりの顔を見ていたら、『あ、マヤだ』って実感できたんです」

大和田の女優魂に火をつけたのは、蜷川の絶妙な手綱さばきだ。「まさにスパルタでした。蜷川さんは完全に月影先生を演じてらしたと思います。私も負けず嫌いだから、『死ぬ!』って言われても『まだ死なません!』とか言い返すので余計に言われて。舞台上では豪雨に打たれるし(笑)。でも稽古中はさんざんダメ出しされたんですが、初日の本番直前に蜷川さんから『俺が言ったことは全部忘れて舞台に立て』と言われたんですよ。もう感謝で泣きましたね」

この春には、井上ひさし作『夢の泪』に出演、井上流音楽劇を経験したことで、今回の舞台にもつながる手応えを感じている。「『ガラス〜』も音楽劇なのに、前回蜷川さんからは『歌うな』『ミュージカルみたいだ』と言われ続けたんです。私にはその違いがわからなくて。でも井上さんの作品で『歌を歌わない』ことを学べた気がして、早く試したいんですよ。この2年間の私なりの成長を蜷川さんに見てもらいたい。『何も変わってねえじゃねえか!』って言われるのは想像できるけど(笑)。今回も稽古場で恐れずにどんどん恥をかきたいです」



恥をかくのが稽古場です



「修行」のつもりで初蜷川にチャレンジ



細田よしひこ

(ほそだ よしひこ): 桜小路 優

東京都出身。大きな瞳と愛くるしい笑顔が印象的な注目の若手俳優。2004年にデビューし、品の良さや爽やかさ兼ね備えたルックスで人気を集め、ドラマや映画、CMで活躍。07年のドラマ『ライフ』では、裏のある強烈な悪役を演じ話題を呼んだ。最近の出演作はドラマ『宿命1969-2010』、映画『僕の初恋をキミに捧ぐ』等。現在、『大改造!! 劇的ビフォーアフター』レギュラー他、映画『大奥』『BAD BOYS』が公開を控えている。今回、初舞台を踏む。



前回公演より © 大原野行

マヤを優しく見守る桜小路 優。恋よりも演劇に一途なマヤの姿に距離を感じずにはいられないという、切ない役どころだ。桜小路役には、これが初舞台となる細田よしひこ。振り幅の広い演技力には定評がある。「何もかもが初めてで、『舞台の台詞、どうやって覚えるんだろう?』から始まり(笑)。会う人会う人に言われますよ、『初めてで蜷川さん、大丈夫?!』って。大和田美帆さんは『ホントにいい人だよ!』と言ってくださいましたけど、もう身を投げてますから。たぶん稽古初日からボロクソに潰されるだろうけど、そこも含めて楽しむしかないな」

恋心と同時に俳優として複雑な思いを抱く桜小路には、共感できる部分も多いという。「マヤのことはすごく好きだけれど、どんどん注目されていく彼女を横目で見ながら、置いていかれるような気分になる。僕も同世代の仲のいい役者さんがテレビに出たりすると嫉妬もするし、『好きだけれど好きになりきれない』という感情はすごくよくわかる気がします。ただ桜小路君と違って僕はかなりおしゃべりなので、稽古場では黙っていたほうがいいのかと」

いやいや、屈託のない陽性キャラは稽古場のムードメーカーになりそうな予感が。「『舞台って毎回同じことやってスゴいね!』と言ったら、みんなに『いや、毎回違うんだよ』と言われた」、「稽古が始まる前に共演者と仲良くなって『怒られても一人じゃない』と思えるチームワークをつくっておきたい」と、未知の世界に思いを馳せつつ、覚悟はもう決まっている。「修行に行くつもりですから。一番ヘタなのはわかってますし、変なプライドもないんです。チャレンジして怒られて、の繰り返しに蜷川さんが付き合ってくださいってご指導いただけたら、本当に嬉しいですね」

## MIHO OWADA & YOSHIHIKO HOSODA interview



FROM NINAGAWA

子どもと大人が学びっこしましょう

子ども用につくるというより、大人が手を抜かず一生懸命つくるので、本物にふれ、子どもたちに演劇を観る習慣がついたらいいなあと思うと同時に、親子で観客としてのマナー、社会性も学んでもらえたら。夏になると、『ガラスの仮面』があるみたいに、この劇場の名物になってみんなが楽しみにしてくれるような作品に育つとうれしいなあ。

### 彩の国ファミリーシアター 音楽劇『ガラスの仮面 ~二人のヘレン~』

日時：8月11日(水)~27日(金) 全20公演 会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

原作：美内すずえ 脚本：青木 豪 演出：蜷川幸雄 音楽：寺嶋民哉

出演：大和田美帆 奥村佳恵 細田よしひこ 新納慎也 原康義 月川悠貴 岡田正 黒木マリナ 立石涼子 香寿たつき 夏木マリ

チケット(税込)：好評発売中

一般 S席6,000円/A席4,000円 メンバース S席5,400円/A席3,600円

※全公演、開演前にバックステージツアー(定員制)を開催します。詳細はHPをご覧ください。

※●印の回は聴覚に障害のある方のため、ポータブル字幕システムを利用した「バリアフリー鑑賞DAY」(定員制)を実施します。

【お申込み・お問い合わせ先】

FAX: 048-858-5515

E-mail: eigyou@saf.or.jp

TEL: 0570-064-939 (10:00~19:00)

※3月号にて発表のスケジュールから変更となりました。予めご了承ください。

8月	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
12:30	●																
13:00		●	●	●	●												
17:30																	
19:00	●																

# ゴールドの本気の老人力に刺激を受けて

## SHU MATSUI interview

『アンドゥ家の一夜』で圧倒的な存在感を見せつけた《さいたまゴールド・シアター》。今度の新作は、さらに過激に、老人ホームに起こる革命の話、になるようだ。書き下ろすのは、37歳の松井 周。『聖地』への道は秋9月にひらかれる。

取材・文：徳永京子〔演劇ジャーナリスト〕 Photo：大原狩行



才能の先物買い的な抜擢だ。蛭川幸雄演出のさいたまゴールド・シアター第4回公演『聖地』を書く松井周は37歳。蛭川が組む同時代に生きる劇作家としては、最も年の離れたパートナーとなる。サンプルというユニットを主宰し、作・演出家として活躍。発表した作品数は少ないながら、2年連続で岸田戯曲賞の最終選考に残り、5月にはニューヨーク・タイムズに「最も重要な日本の演劇人のひとり」として大きく紹介された。

「実は『アンドゥ家の一夜』(前回のゴールド・シアター公演)で初めて蛭川さんの演出作品に触れ、衝撃を受けました。開演前の舞台にゴールドの皆さんがいて“あそこのせりふ教えて”とか、ただ稽古しているみたいな空気が、とても生々しかったですね。ゴチャッと人がいて、好き勝手に動いたり話したりしている様子で“ああ、これは何でもアリなんだな”と思えました。ここからどこへ進もうと——物語の中へ入ろうと出よう——大丈夫、幅の広い芝居が始まるんだと最初にわかって“みんな勝手にやっておもしろいなあ”と笑いながら鳥肌が立ちました。しかも開幕したら、蛭川さんを始めてして何人かがプロンプトについていた。それ

が、脚本の完成が遅くて……という状況から生まれたとしても、蛭川さんが最終的にああいう演出を選んでそれを提示したことが、演出家の力の凄さそのままというか“懐が深い”と思ったんですね。実際に舞台もすごく面白かったですし」

普段の松井作品は、家族や新興宗教など小さな集団の隆盛と崩壊、そこから始まる新たな形の共生を描くことが多かった。『聖地』では近未来の老人ホームを舞台に、革命を起こそうとする老人達を通して、シュールかつユーモラスに生と死を描くらしい。「イメージとしては『楳原節考』と『カムイ伝』を元にしてはいますが、老人が革命を起こす話って、他にあまりないと思うんで

# 9月

さいたまゴールド・シアター 第4回公演

## 『聖地』



Photo: 左「船上のピクニック」 右「アンドゥ家の一夜」 © 宮川舞子

### STORY

近未来。安楽死法が施行された日本では、老人は延命医療よりも「最適な死」「りっぱな最期」をのぞむように求められていた。エコロジーという名の下に排除され、それぞれの場所で追いつめられていく老人たち——。そんな時、ある老人ホームでかつてのアイドル歌手の死亡が報じられると同時に、その死には不審な点が多いことがわかった。元ファンクラブのメンバーたちは彼女の入所していた老人ホームに乗り込み、謝罪を要求するにとどまらず、こんなことを宣言する。「私たちはここを乗っ取ることを宣言する。今からここは『聖地』となる」この声明をきっかけに、全国から行き場をなくした老人たちが『聖地』に集まってくる。『聖地』は完成するのだろうか？そして、ここは一体誰にとっての『聖地』なのか？

### さいたまゴールド・シアター 第4回公演『聖地』

日時：9月14日(火)～26日(日) 全10公演  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール  
作：松井 周 演出：蛭川幸雄 出演：さいたまゴールド・シアター  
チケット(税込)：好評発売中 一般：3,000円 メンバーズ：2,700円

9月	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
曜日	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木・祝	金	土	日
14:00													
18:30			休演					休演			休演		

### 松井 周 まつい しゅう

1972年東京生まれ。明治学院大学卒業と同時に劇団青年団に入団。その後、作家・演出家としても活動をはじめ、処女作『通過』、2作目『ワールドプレミア』が立て続けに日本劇作家協会新人戯曲賞受賞。2007年に劇団「サンプル」を結成。『家族の肖像』(2008年)、『あの人の世界』(2009年)がそれぞれ第53回・第54回岸田国士戯曲賞最終候補にノミネートされ、フェスティバル/トーキョー09秋・春に参加など、いま演劇界から最も熱い注目を集める劇作家の一人。



### FROM NINAGAWA

#### 恐怖心をもって、若い人の戯曲と向き合う

劇場の若いプロデューサーから、松井さんの作品を僕の演出で観たいという提案があり、僕も何でも演出できるわけじゃないから、その挑戦を受けて、勉強しようと思ってね。今の若い人の戯曲は温度が低く、60～70年代を経た僕は温度が高い。低いというのはマイナスの意味ではなく現在性で、その温度差とどう対峙しているのか。未知のことだし、恐怖心を抱きながら演出しようと思っている。

すね。老人だから体力もそんなにないだろうし、武力もそうそう使えない、だとすれば(革命という言葉と裏腹に)ちょっと間抜けな方向になってくんじゃないかと。実際に書いててそうやってきているんですけど(笑)、その先に破れかぶれになっていく感じもあります。できれば若い人も出して、3世代ぐらいのギャップを描きたい。真剣に言っているのに全然話が通じない相手がいる状態が面白いんじゃないかと思うので」

### 演技力を要求する書き方をしてる

ゴールドだけで42人いる役の書き分け、

蛭川が演出することなど、プレッシャーの感じどころは「めっちゃくちゃあります(笑)」と言うものの、執筆しながらそれを上回るモチベーションを感じとっている。「役者さんたちに会う時間がなかったのも、蛭川さんが稽古をつけてるビデオは見せてもらっているんですが、それがすごく面白いというか、勉強になります。蛭川さんが演技のベースみたいな話をされているんですが、まずリアリズムの演技を身につけてくれとおっしゃってて。“ベケットのような(リアリズムの)解釈を寄せ付けない演劇もある、その価値も知ってるけど、まずリアリズムを身につければ、それをあとから外すのは可能なんだ、だからまず基礎を

やるんだよ」と。すごく腑に落ちるんですね。リアリズムだけを認めてるんじゃないから、リアリズムを乗り越える役者の凄さをわかったうえで、選んでいるんです。改めて、凄い方だなあと感じました。で、ゴールドの皆さんも頑張るんだけど、すぐ蛭川さんにダメ出しされて、本気で落ち込んで。その姿もよかったですね。余技でやっているんじゃないってことが強く伝わってきました。その稽古場の風景、作品をつくり上げてる感じに刺激を受けました。『聖地』はすごく(演じ手に)技術を求める書き方をしているんですけど、蛭川さんだったら絶対にいい形に仕上げてくれると思うので、何の心配もしていません」

# 今度のオールメールは注目の初顔合わせ “じゃじゃ馬”に亀治郎、彼女を馴らすのは筧 利夫

毎回、満員の客席をわかせて大人気のさいたま名物、オールメールのシェイクスピア。今秋登場は、喜劇『じゃじゃ馬馴らし』。出自の違う市川亀治郎と筧 利夫という異色の顔合わせ、意気込みを語る2人の言葉からも、はじけた舞台への期待はおおいに高まる。



FROM NINAGAWA  
あやかしの魅力に満ちたシェイクスピアを

芝居の魅力って一つだけじゃなくて、まがましい要素や美しさ、妖しさもある。シェイクスピアを男だけでやるとかね。『NINAGAWA 十二夜』で、イギリスでも大評判だった、当代きっての手練れの亀治郎さんと、様々なジャンルで活躍の人気者の筧さん、注目の山本くん、オールメールでおなじみの月川くんが組む、あやかしあふれる舞台を、文学性以外の興味をもって、ワイワイ言いながら観てほしい。



## The Taming of the Shrew KAMEJIRO ICHIKAWA & TOSHIO KAKEI interview

歌舞伎役者・亀治郎の演じる  
オールメールはひと味も二味も  
違うところをお見せします。



市川亀治郎 いちかわ かめじろう  
東京都出身。1980年『義経千本桜』で初舞台を踏む。84年二代目市川亀治郎を襲名。若手実力派として精力的に舞台に立ち、02年には自主公演『亀治郎の会』を立ち上げ、活動を開始。以降、ハルコ歌舞伎『決闘！高田馬場』、『狭き門より入れ』等新しい分野に意欲的に挑戦し、高い評価を得ている。07年パリ・オペラ座での『松竹大歌舞伎』に出演、同年NHK大河ドラマ『風林火山』で映像作品初出演を果たす等その活動の幅を広げている。08年第59回芸術選奨 文部科学大臣賞を受賞。蜷川演出作品では『NINAGAWA 十二夜』に出演しており、今回が2作品目の参加となる。

シェイクスピアですか？ いちばん最初に観たのは『ハムレット』です。子どもの時なので全然わからなくて、それ以来トラウマで、実は苦手です(笑)。『NINAGAWA 十二夜』でシェイクスピアは経験済みではありますが……。『NINAGAWA 十二夜』の蜷川さんは、役者をがんじがらめにするのではなく、演じる側の意見も取り入れて下さいました。役づくりの上では、ちょっとした一言が心強く、大きなヒントになりました。蜷川さんに身を任せていれば大丈夫だと思いましたし、蜷川さんだからこそできた舞台だと思っています。

歌舞伎でもそうですけど、役の細かいところはもちろん大切ですが、その前に、性根というか、大枠の人物像を押さえて、そ

こからどう発展してゆくか。こればかりは稽古に入らなければわかりません。というのも、あらかじめ全部自分で役を作り込んでしまうと、一方通行の芝居になってしまうような気がします。やっぱり相手役の方があってこそ芝居だと思います。あまり早い段階でガチガチに固めてしまうと、なかなか融通が利かなくなる。僕の場合、皆さんと稽古をやって、お互いが会話を重ねていくうちに、ここはこうやって、ああやってという工夫が生まれてくる事が多いです。

『NINAGAWA 十二夜』の麻阿役は、歌舞伎のオーソドックスなそれとはまったく違うアプローチで作りましたが、それも蜷川さんからヒントを得たことです。僕

をどう料理していただけるか、もっとも料理していただくには、腐った野菜ではダメだから、常に新鮮な野菜でいようと。それは自分の責任だと思っています。

今回のオールメールは、歌舞伎役者の演じるシェイクスピア劇として観てほしいです。今までのオールメールとはひと味もふた味も違うものになる。その違いを観てほしいし、僕に関して言えば、役への対し方が歌舞伎的になると思います。というか、必然的に歌舞伎的にならざるを得ない。蜷川さんもそれを求めて配役して下さいました。だから、そういう前提で観ていただきたい。西洋料理店でいきなり和食が出て来ても、驚かないで下さいね(笑)。とても美味しい和食ですから。

# 10月 『じゃじゃ馬馴らし』

ALL MALE SERIES

彩の国シェイクスピア・シリーズ第23弾



どういうつもりで  
シェイクスピアは、  
これを書いたのかなあと、  
筧 利夫は考える。

筧 利夫 かけいとしお  
静岡県出身。大阪芸術大学卒業後、劇団第三舞台に入団。同劇団の看板俳優として絶大な人気を誇る。1997年テレビドラマ『踊る大捜査線』で注目を集め、以降、舞台にとどまらず数多くの作品に出演。主な出演作はミュージカル『ミス・サイゴン』、舞台『す★け★だ★ち』『何日君再来』、映画『22才の別れ』『交渉人 the Movie』、テレビドラマ『Dr.コトー診療所』等。現在『名曲探偵アマデウス』(NHK-hi)にレギュラー出演中。蜷川演出作品には今回が初参加。5月に映画『ボックス!』が公開された。

20年ほど前にサードステージで『夏の夜の夢』、その翌年に石坂浩二さん演出で『お気に召すまま』をやったぐらいで、シェイクスピアにはあまり縁がなかったんです。

今回お声をかけていただき、よく考えるのは、シェイクスピアが書いた当時、どういうつもりでこれを書いたのかという事です。大きな課題です。演じる僕らがわかれば、観る方にもわかると思いますので。本当にどういうつもりで『じゃじゃ馬馴らし』を書

いたのかなあ……。昔の女の人ってきつかったんでしょうか。だから男性から女性への願望が入っているのか？ 基本的に女性にはじゃじゃ馬な部分ありますものね(笑)。キャタリーナは、きつというキャラだけが目立ちますけど、実はシェイクスピアが伝えたいことをきつい言葉や行動に変換しているとも思えるんです。そして最後のキャタリーナの長台詞。働きの男が聞いたら涙を流して喜びそう

なこの台詞にはどんな思いが込められているのか……。？

蜷川さんの稽古場は、稽古初日からセットができていて、本番の衣裳に近いものを着て、小道具もあるという話ですよ、これはすごくありがたいです。普通はジャージで、小道具も仮で稽古するでしょ。本来あるものをナシでやっていると、演技でないものを埋めなくちゃいけない瞬間があるんです。それをしなくていいので楽しみです。

とはいうものの、僕はもう今から緊張して息を吸えてない状態なんです(笑)。亀治郎さんとも初めてですし、以前大河ドラマを観た時、「この人は普通の俳優と違う細胞で出来ている」と思った方ですから。きっと芝居の構築の仕方も違うのだらうと思っています。どうセッション出来るか、本当に楽しみです。

蜷川演出も初めて、オールメールも初めて、さいたま芸術劇場も初めて。初めてづくしですが、舞台を始めて30年、テレビも映画ももちろん真剣ですけど、舞台は正直気が引き締まります。台詞も動きも頭に入れるのは無理矢理何とかありますが、身体の中に落としていくには相当時間がかかります。僕はちゃんと覚えてないと自由に動けないので、そのために前準備をしかりして、稽古初日を迎えたいですね。

### STORY

舞台はイタリア。学問の都パドヴァに、キャタリーナ(市川亀治郎)とピアンカ(月川悠貴)という姉妹がいた。妹のピアンカが従順で美しいのに対し、姉のキャタリーナは鼻柱の強い“じゃじゃ馬”で、男にとどまるで眼中にない。ある日、姉嬢の行く末を心配した資産家の父バプティスタが、妹の求婚者たちに「姉の嫁ぎ先が決まるまで妹は誰とも結婚させない」と宣言しているところに、ピサの裕福な商人の息子ルーセンシオー(山本裕典)がやってくる。彼もまたピアンカに心を奪われ、一計を案じて召使に自分になりすますよう命じる。折しも、ヴェローナからはベトルーチオ(筧 利夫)という名の紳士がやってくる。妹嬢の求婚者のひとりから事の経緯を聞いた彼は、自分もまた結婚相手を探していること、相手は金さえあれば誰でもよいことを告げ、強引にキャタリーナとの結婚話を進める。破天荒なベトルーチオに辟易するキャタリーナだったが、話とはとんとん拍子に進んでいく。果たしてキャタリーナとベトルーチオはうまくいくのか？ そしてルーセンシオーとピアンカの恋の行く末は……？

### 彩の国シェイクスピア・シリーズ第23弾『じゃじゃ馬馴らし』

日時:10月14日(木)～30日(土) 会場:彩の国さいたま芸術劇場 大ホール  
演出:蜷川幸雄 作:W.シェイクスピア 翻訳:松岡和子  
出演:市川亀治郎 筧 利夫 山本裕典 月川悠貴 ほか  
チケット(税込):一般 S席9,000円/A席7,000円/B席5,000円/学生席2,000円  
メンバーズ S席8,100円/A席6,300円/B席4,500円  
発売日:一般7月31日(土) メンバーズ7月17日(土)

10月	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
13:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

# dancetoday 2010

## ダンスのさらなる可能性を求めて気鋭のダンサーが2010年の“今”を表現する

2年目を迎える<dancetoday>が新たな展開をみせる。選び抜かれた気鋭のダンサーそれぞれの個性が2010年の“今”、彩の国で出合って、いかなる化学反応を舞台で起こすか。注目の2つの作品。

### Island of No Memories —記憶のない島

伊藤郁女 × ミルカ・プロケソバ × 山崎広太

#### 作品に厚みを増すトリオの舞台

—「Island of No Memories—記憶のない島」というタイトルにはどのような思いが込められているのでしょうか。

これは『The Story of Forgetting! (『忘却の物語』Stefan Merrill Block 著) という本から来ています。この本は、アルツハイマーの母親がその病気を子供に知らせるために、おとぎ話を伝えるという話で、その中に、「記憶のない島」という島が登場し、ここでは、島の住民全員が記憶がないため、同じ人と何度も恋に落ちることがある、という島。そこから影響を受けて創った作品なので、この名前をつけました。

—伊藤さん、ミルカさん、山崎さんのトリオでどのようなことを試みていますか。

女性2人、男性が1人出演します。この女性2人は、バーグマンの映画『ヘルソ

ナ』のように、陽と陰、白と黒、昼と夜などを表しています。つまり二重性格を2人のダンサーで演じます。男性は、自分の日常生活がいつも同じ人で、それが、記憶がなくなっていくごとに、「忘れる」という開放感を見つけていきます。そういった三角関係をストーリーにしているために、トリオを選びました。

—今回の共演者は作品においてどのような存在でしょうか。

私は、人を選ぶときは、自分の想像したストーリーの役に合わせて選んでいきます。例えば、山崎広太さんを選んだのは、彼のユーモアのある存在が、こういった重くなりがちな役を軽く語ってくれると思ったからです。それから、作品を創っていく段階で、「役づくり」や、「場面づくり」を大切に考えているので、それなりに自分のスタイルを既に持っているダンサーを選ぶことが作品に人間性や、劇的な面を加えていく鍵になります。

### 伊藤 郁女

Kaori Ito

クラシックバレエを高木俊徳に師事。ニューヨーク州立大学サニーバーク校ダンス科に留学。フィリップ・ドックフレ『IRIS』で主要なソロパートをつとめる。振付家アンジュラン・フレルジョカージュと活動を始め、07年、ジェイムズ・ティエレ（チャーリー・チャップリンの孫）の作品に参加。09年、シディ・ラルビ・シェルカウイ振付のオペラ『眠れる美女』（川端康成原作）主演。10年、アラン・ブラテル『アウト・オブ・コンセプト』に出演。自作『Island of no memories』でフランスの振付コンクール、(ル)コネッセンス1位を受賞。



©Regina Menzies

### ミルカ・プロケソバ

Mirka Proke ov

ブラハに生まれる。チェコの振付家レンカ・オトバ、レオナ・カサカニコバ、ルシ・ミルコバ、ペトラ・ダセルコバ、マーティン・ボージュラック、エレナ・イバノビック、ヤレック・クバニコバ等と仕事を。09年から伊藤郁女と活動。



### 山崎広太

Kota Yamazaki

Fluid hug-hug 主宰。ベニントン大学ゲスト講師、コロンビア大学非常勤教授。07年、NY ダンス・パフォーマンスアワード、ベッシー賞受賞。主な作品、伊東豊雄とのコラボレーション『Cholon』(01年)、ジャンメイ・アコギーとの共同振付『Fagaala』(04年)、セシル・ピトアとのコラボレーション『Rays of Space』(09年)など。Body Arts Laboratory メンバー。NYと東京を拠点に活動。



©片岡隆太

### 「」の中

KENTARO!! × 康本雅子

#### 「踊る」ことの強さと面白さを

—「」の中」というタイトルにはどのような思いが込められているのでしょうか。

まずは踊りを単純に素直に見てもらいたくなって気持ちが強いんです。コンセプトやテーマはあるのですが、ごり押ししたくないというか…伝えたいストーリーは展開で見せればいい訳で。ある意味、アンチコンセプトチュアル的かもしれません。僕をただのヒップホップダンサーだと思って見に来ない人もいるし、コンテンポラリーダンスを全てバレエっぽいものだと思う人もいる。そういうのを変えたいなって考えてます。そんな気持ちがタイトルに込められてるのかも。実は他にも意味はありますが、それは見てのお楽しみということ。

—これまでではソロやご自身のカンパニーのグループに振付けられています。今回は2人での作品です。このデュオでどのよう

なことを試みたいですか。

デュオは未知数な分、やりがいやドキドキがあります。今回は康本さんという事で、テクニク的に少し高度な試みになるかと思えます。2人とも音にハマって踊るのが好きかと思うのですが、奇妙にズラしたり、ベタにのっかってみたり、独特なノリを出したいな、と。それから2人の色々な関係性をみせていくこと。身近なようで遠いような、その不思議な関係からいつの間にか感情がにじみ出るような。お客さんと一緒に楽しめたらいいなって思います。

—今回の共演者である康本さんは、KENTARO!!さんにとってどのような存在でしょうか。

康本さんは、動きや雰囲気が唯一無二といった印象で、絶対いつか踊りたい!と思ってました。僕がコンテンポラリーダンスを見始めたきっかけは康本さんだったんですよ。ミュージックビデオで康本さんが

### KENTARO!!

東京 ELECTROCK STAIRS 主宰。HIPHOP テクニクをベースに、音楽シーンやコンテンポラリーダンス、演劇等に影響を受けた自由な発想による「ダンス」を創作、独自の表現を目指している。08年、横浜ダンスコレクション R にて若手振付家のための在日フランス大使館賞、トヨタコレオグラフィアワード 08 にてオーディエンス賞、ネクステージ特別賞を受賞。2009年度の活動に対し、第4回日本ダンスフォーラム賞受賞。http://www.kentarock.com



### 康本雅子

Masako Yasumoto

これまでに自作品『ナ花ハ調』『夜泣き指ゆ』『ブッタもんだすつて』などを日本国内12都市とイタリア、韓国、マレーシア、タイ、インドネシア、NYにて上演した。また、ダンス公演のみならず、演劇、音楽、映像、ファッション界等、多岐に渡るジャンルにおいて活動している。この度 KENTARO!! 作品に初参加、身も心も振付けられたし。http://yasumotomasako.net



©Kikuo Usuyama

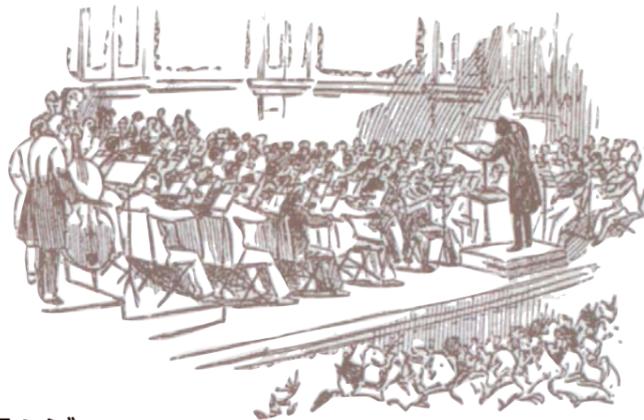
### dancetoday 2010

日時: 9月3日(金) 開演19:30、4日(土) 開演15:00、5日(日) 開演15:00  
会場: 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール  
演目: 『Island of No Memories—記憶のない島』(振付・演出: 伊藤郁女 / 出演: 伊藤郁女、ミルカ・プロケソバ、山崎広太)  
『「」の中』(振付・演出: KENTARO!! / 出演: 康本雅子、KENTARO!!)  
チケット(税込): 好評発売中  
一般: 3,500円 メンバーズ: 3,150円

# Music Salon

彩の国で名曲にひたる秋。NHK交響楽団によるドヴォルジャークの《新世界から》と、アンサンブルictus(イクトゥス)が奏でる、マーラーの大作《大地の歌》に注目。

文：後藤真理子 [音楽ライター]



## ドヴォルジャークと交響曲第9番《新世界から》 『6人の子持ちにはうれしい、“新世界”からの高額な年俸』

楽譜も買えない恵まれない環境から  
チェコ国民音楽の父と  
呼ばれる大作曲家に

チェコを代表する国民的作曲家アントニン・ドヴォルジャーク(1841～1904)は、ブラハの北約30キロに位置するボヘミアの小村ネラホゼヴェスに生まれた。

生家は、宿屋兼居酒屋で、肉屋も営んでおり、いわゆる音楽家一家ではなかった。しかし、父は歌がうまく、ヴァイオリンを好んで弾いたという。そんな無類の音楽好きであった父の影響が、ドヴォルジャークも少年時代から音楽を好み、村の教会の聖歌隊員を務めるかたわら、やはりヴァイオリンを奏でたという。

16歳で、オルガニストを目指してブラハ・オルガン学校に入学したドヴォルジャークは、卒業後ヴィオラ奏者として舞踊楽団に雇われる。レストランなどで演奏するのが仕事で、年俸は348グルデン(現在の日本円で170万円前後)と薄給であった。自前のピアノはおろか、楽譜や五線紙を買う余裕もなかった。音楽教師として働くことでしのぐかたわら、20歳頃から作曲を始めている。

やがて家庭をもち、1874年に聖アダルト教会のオルガニストに就任する。つましく暮らす中、ブラームスに認められるなどして、次第に作曲家として国際的にも高く評価されるようになった。1891年には、ブラハ音楽院の作曲科教授になったものの、収入は相変わらず十

分ではなく、年俸は1200グルデン(約600万円相当)であったという。当時のドヴォルジャークは、13歳の長女を頭に6人の子持ちであった。生活は決して楽とは言えなかったろう。

そこへ、大西洋を隔てた新大陸の国アメリカから、魅力的な誘いを受ける。年俸1万5000ドル(3万グルデン。約1億5000万円相当)で、2年間ニューヨークのナショナル音楽院の院長になってほしいという申し出があったのである。高額な年俸に加え、年4カ月の休暇と、自作中心の演奏会を10回程度指揮するという、これ以上ないほどの好条件であったという。

見知らぬ遠い国への移住を思い、ドヴォルジャークは悩んだ。しかし結局、ナショナル音楽院創設者サーバー夫人の熱意もあって、アメリカ行きを決意する。1892年9月、ドヴォルジャーク51歳の秋であった。

### “鉄男”が望郷の思いを奏でた 交響曲第9番

ドヴォルジャークが非常な歓迎を受けて院長に就任したナショナル音楽院では、当時としては珍しく、アフリカ系の学生も受け入れていた。やがてドヴォルジャークは、黒人霊歌やアメリカ民謡に親しみようになる。その影響が見られる最も有名な作品の一つが、1893年に作曲された交響曲第9番《新世界から》である。作曲家自身、友人ルス宛ての書簡で「こ

れまでの作品と違い、わずかにアメリカ風である」と述べている。

《新世界から》の第2楽章は、アメリカの国民的詩人ロングフェローの詩「ハイアワサの歌」に感銘を受けて作曲されたもので、日本でも『家路』などのタイトルで、訳詩をつけて、小学校の音楽の教科書に採用されているほどポピュラーな名曲である。抒情的な美しい旋律は、アメリカ民俗音楽との関連が言われるが、故郷ボヘミア地方の民謡ともつながるもので、ドヴォルジャークの望郷の思いが奏でられていると見られる。

いわゆる「鉄男」で、鉄道マニアとしても知られたが、ニューヨーク時代はグラント・セントラル駅で汽車を眺めるほか、港へ出かけて蒸気汽船をよく見ていたという。海の向こうの故国を懐かしんでいたであろうか。



交響曲第9番《新世界から》は、10月2日(土)、埼玉会館大ホールにて、NHK交響楽団(現田茂夫指揮)により演奏されます。  
※詳細はP.26にて



図版：1900年頃のオットー・ペラーによる「指揮をするグスタフ・マーラー」



## マーラーと交響曲《大地の歌》 『芸術的良心に乏しければ、スター歌手でも締めだす厳格さ』

世紀末を生きた現代音楽の  
先駆者は指揮者としても傑出

グスタフ・マーラー(1860～1911)は、19世紀と20世紀のちょうど狭間に位置する作曲家といえる。いわば最後のロマン派であると同時に、現代音楽の先駆でもあった。

ボヘミア(現チェコ)の小村カリシュトのユダヤ系商人の子として生まれ、幼少の頃から豊かな楽才を示した。10歳で初のピアノ・リサイタルを開催したほどの早熟の才能は、15歳でウィーン楽友協会音楽院(現ウィーン国立音楽大学)に入学を認められるに至る。卒業後は、ヨーロッパ各地の劇場で指揮者として活躍し、かたわら作曲も始めた。1897年には、ウィーン宮廷歌劇場(現ウィーン国立歌劇場)の芸術監督に就任。いわば当時の楽壇の頂点に立ったのである。

ウィーン時代のマーラーは、厳格な指揮者として知られた。リハーサルは徹底的に行い、芸術的良心が乏しいとみるや、どんなスター歌手でも締めだした。こうした厳しさが、やがて反発をかい、皇帝の側近ともそりが合わず、ついには辞任へと追い込まれる。

管弦楽伴奏付き歌曲集とも取れる  
声楽付き交響曲には、番号がない

当時のヨーロッパに、マーラーにふさわしい次のポストはなかった。そこで、すでに健康上の不安を抱えていたものの、

ニューヨークのメトロポリタン歌劇場の誘いを受けて、マーラーは新大陸へと渡る決意をする。

交響曲《大地の歌》は1908年の作品で、ちょうどアメリカとオーストリアを行き来していた頃にかかれている。交響曲は、本来は純粋器楽の音楽であるが、マーラーは声楽を入れることを好んだ。《大地の歌》は、そうしたマーラーの好みがか濃く反映されており、一編の物語として書かれた連作歌曲とも取れる構成になっている。交響曲として番号付けされなかったのは、そのためと見られている。

「テノールとアルト(またはバリトン)とオーケストラのための交響曲」と題されているが、オーケストラ稿のほかに作曲家自身によるピアノ稿がある。また、マーラーの親友シェーンベルクが、自身主宰の私的演奏協会での演奏を企画した際の編曲がある。シェーンベルクはこれを完成させることができず、1983年に音楽学者ライナー・レーンが、シェーンベルクの意に沿った室内楽版を補筆完成させた。この編曲版では、打楽器はピアノで代用し、マンドリン省略など、大幅な改訂がほどこされている。ちなみに、臨終のマーラーが「私が死んだら誰がシェーンベルクの面倒を見るのか」と言ったという逸話があり、2人の親交の深さがうかがえる。

《大地の歌》の歌詩は、ハンス・ベートゲが翻訳・編纂した詩集『中国の笛』から採られている。しかし、ベートゲは中国語を解したわけではなく、かなり勝手

な変更を加えているため、《大地の歌》の第2および第3楽章の原詩は、完全には判明していない。また、第6楽章(告别)は、マーラーが孟浩然と王維の、2つの詩をつなぎ合わせて手を加えたため、いっそう原詩からかけ離れた内容となっている。2つの詩は、「友を待つ」という主題を除けば、相互に関連はまったくない。そこへマーラーは「きみへ最後の別れを告げるために待っている」という一節を加えて、2つの詩を結びつけ、一編のドラマに変えた。情景描写にとどまる中国詩に、いかにもヨーロッパ的な改変を行ったとも解釈できる。

なお(告别)は、演奏時間が30分近くかかり、《大地の歌》全曲の約半分を占める長大な楽章である。音楽的にも内容的にも《大地の歌》の中核であるといえよう。

室内楽版の《大地の歌》第6楽章(告别)は、11月6日(土)・7日(日)に、彩の国さいたま芸術劇場大ホールで上演される「ドライアップシート」で、パフォーマンスとともに演奏されます。※詳細はP.25にて



彩の国ファミリーシアター  
音楽劇『ガラスの仮面 ～二人のヘレン～』

8/11 Wed 27 Fri

演劇の魅力をリアルに体験!



言わずと知れた美内すずえの国民的人気コミック『ガラスの仮面』。演劇を通して少女が成長するさまを描き、現在なお絶大な人気を誇る“ガラカメ”が、蜷川幸雄の演出で、親子で楽しめる音楽劇に生まれ変わります! 大好評を博した第一作に続く第二作目では、不朽の名作『奇跡の人』を軸に、マヤと亜弓の演劇バトルが繰り広げられます。リアルに演劇の魅力を間近で感じることができると評判の音楽劇『ガラスの仮面』で、コミックファンも、演劇ファンも、劇場に来たことのない方も、他のエンターテインメントにはない演劇ならではの面白さにどっぷりつかってみませんか。  
※詳細はP.8～9にて  
※未就学児の入場はご遠慮ください

光の庭プロムナード・コンサート  
夏休みスペシャル!

8/28 14:00

オルガンとおはなしのコラボが実現!

土曜の昼下がりにポジティブ・オルガン(移動可能な小型のバイブオルガン)の素敵な音楽を楽しむ「光の庭プロムナード・コンサート」。8月は恒例の親子で楽しめる特別企画です。今年はオルガンとフランスの童話『ムフタール通りの魔女』のコラボレーションでおおくりします。さあ、オルガンの音色に乗っておはなしの世界へと出発です!

美しくなりたい魔女のおばあさんが、ある日新聞で「ナ」のつく女の子を食べるとききれいになれると知って、街にでかけますが…。魔女にねらわれた女の子は果たして無事助かるのでしょうか!?  
※入場無料(事前申込不要)  
※年齢制限なし  
※終演後、バイブオルガンの見学と体験あり



ドキドキ  
ワクワク

# 劇場で遊ぼう、体験しよう!

彩の国さいたま芸術劇場(上段)と熊谷会館(下段)では、お子様を対象とした夏休みバージョンが揃いました。演劇、音楽、バレエと多彩なジャンルで、親子で楽しめる企画が充実。この夏は、劇場を遊び場にしちゃおう!

Photo: 高嶋ちぐさ(右下)、加藤英弘(左下、右上) イラスト: ©美内すずえ/白泉社



熊谷会館ファミリー・クラシック  
夏休みオーケストラ!

8 Sun

オーケストラをまるごと体験!

オーケストラをとことん楽しんでいただく、毎夏の大人気企画。今回はフィギュアスケートの浅田真央選手が滑った『仮面舞踏会』の〈ワルツ〉をはじめ、いろいろな踊りの曲が登場。恒例の参加企画、「指揮者にチャレンジ!」コーナーでは、名曲〈ハンガリー舞曲第5番〉に挑戦! 『みんなで歌おう&演奏しよう!』では、

映画『となりのトトロ』の〈さんぽ〉をオーケストラと一緒に演奏しましょう。好きな楽器を会場に持ってきてくださいね。さあ、夏休みはオーケストラの国、熊谷会館へ!  
※詳細はP.26にて  
※3歳未満の入場はご遠慮ください



熊谷会館バレエ・セミナー  
上級クラス公開レッスン

8 Thu

バレエをもっと大好きに!

今夏も小学校低学年からの小さなバレリーナたちが、本格的な指導を受けに熊谷会館に集まります。今年の講師は、国際的に活躍中のダンサー・振付家の中村恩恵さんと、日本を代表するプリマ・バレリーナの酒井はなさん。8月17日から3日間にわたるセミナーでは、クラシックバレエの基礎から、さらに一歩先

の表現へと、伸びやかに踊る力を身につけます。そして最終日の〈上級クラス〉は公開レッスン形式でおこないます。バレエやダンスに関心のある方、経験問わずどなたでもご見学いただけます。※セミナー受講申込みは締切りました ※見学申込みについてはP.27にて ※未就学児の入場はご遠慮ください

Review 2010.5-6



© 加藤英弘

MUSIC 5月2日

埼玉会館ファミリー・コンサート 宮川彬良&アンサンブル・ベガ

NHK教育テレビ「クインテット」で大人気のアキラさんとアンサンブル・ベガによるコンサート。音楽の面白さを伝える洒落なトークと、表情豊かなアンサンブルに、子どもも大人も大盛り上がり。



© 加藤英弘

MUSIC 5月18日

埼玉会館ランチタイム・コンサート第10回  
トリオ・エドアルテ(新日本フィル首席奏者による弦楽三重奏)+フルート

お昼どきの50分間、気軽にクラシック音楽を楽しむコンサート。弦楽三重奏に、柔らかい音色のフルートの響きが重なり、華やかさが一層増した演奏を聴衆は楽しんだ。



© 加藤英弘

MUSIC 6月19日

中村紘子 ピアノ・リサイタル ～デビュー 50周年記念～

『ピアニスト100』シリーズ第1回目の出演者にして、シリーズ後期の音楽監督も務めた中村紘子。50年間変わらず聴衆を惹きつけてきた演奏と溢れる音楽性は円熟の極み。



© 渡部孝弘

PLAY 5月15日～6月10日

『ムサシ』ロンドン・NYバージョン

武蔵と小次郎の対決を軸に、報復の連鎖を断ち切ることをテーマとした、故井上ひさし氏書き下ろしの『ムサシ』。夢幻能の構造に、ユーモアをまぶした本作は、ロンドンでも上演、星5つの評価を獲得。



© 加藤英弘

MUSIC 6月11日

小菅 優の現在 Vol.2 アンサンブルの楽しみ

シリーズ第2回目は、小菅 優と、世界的俊才たちによるアンサンブル。ピアノと弦楽四重奏によるシューマンの〈ピアノ五重奏曲〉は、息もぴったりで、まさに“アンサンブルの楽しみ”そのもの。



© 池上直哉

DANCE 6月25日～27日

ホフェッシュ・シェクター 『Political Mother』

UK ダンス界注目のホフェッシュによる新作。5月の世界初演(イギリス)で各紙の絶賛を浴びた。エレキギターとドラムが刻むビート、光と闇が織りなす緊張感、激しいダンスのエネルギーが圧巻。



【フルート】

エマニュエル・パユ  
Emmanuel Pahud

6歳でフルートを始め、パリ国立高等音楽院等で研鑽を積む。1989年の神戸国際コンクール第1位で注目を集め、92年には最難関のジュネーヴ国際コンクール第1位を獲得。翌年ベルリン・フィル首席ソロ奏者就任。その後いったん退団し、ジュネーヴ音楽院で後進の指導にあたるが、2002年ベルリン・フィルに復帰。首席奏者およびソロ・フルーティストとしての演奏活動を再開し、その類い稀なる演奏は常に注目を集めている。

Interview

# Emmanuel Pahud

## 超一流同士の“小さなオーケストラ”

来日のたびに多彩なレパートリーと変幻自在な演奏で聴衆を魅了し続けるエマニュエル・パユ。今秋のステージは、旧知のギタリスト、クリスティアン・リヴェとのデュオ。まさに一流は一流を知る、感性と知性に満ちた競演は聴き逃さない。

取材・文：木幡一誠【音楽ライター】 Photo：横田敦史

## 「尺八と箏の合奏」のごとく 精神的な深みを感じられる共演

ベルリン・フィル首席奏者という肩書で彼のことを紹介する必要など今さらないだろう。名実ともに世界のトップ・フルーティスト。来日回数も数えきれないほどだが、そのつど異なる顔を我々に見せてくれる。バロックからコンテンポラリーに至る演目は、リサイタルを開くたびに変幻自在。共演陣も決して固定的ではなく、しかしいずれも世界第一線のミュージシャンぞろい。自分が何らかの“型”にはまってしまうのを意図的に避け通すがごとく、貪欲な演奏姿勢を貫くパユである。

「音楽家として常にオープンな存在でありたいと思う。取り組む作品のスタイルも一カ所にとどまらないよう意識しながら、フルートという楽器の様々な可能性を、そして僕自身の姿をパノラマ的に示す……。大事なのは好奇心とモチベーションを維持すること。音楽のカメレオン(笑)、探検家であり続けたいですね」

2009年12月に管楽アンサンブル“レ・ヴァン・フランセ”のメンバーとして彩の国さいたま芸術劇場のステージに立った彼が、今度はギタリストと一緒に戻ってくる。デュオを組む相手はフランスの俊秀クリスティアン・リヴェ。パユとは20年来の親友にあたるという。

「パリ音楽院の学生時代に知り合ってから、定期的にコンサートを重ねてきた仲です。クリスティアンはすばらしい美質の持ち主で、耳を澄ませて相手を聴く能力と、自分の音を“聴かせる”能力の両方に秀でている。ギターは往々にして心地よい“香り”だけが記憶に残りがちな楽器だけど、彼との共演はいつも精神的な深みと充実感が得られます。尺八と箏の合奏を想像してみただければ話が早いかも(笑)」

“小さなオーケストラ”と称されるギターとフルートの組み合わせは、想像以上にレパートリーが多く、柔軟な表現力に富む。その響きが醸し出す“親密な雰囲気”も魅力のひとつ。もっとも、ピアノ伴奏で朗々とフルートを奏するときと比べたら、音量面の制約も伴いそうだが……。こう水を向けたら、「ノー・プローブレム！」とパユは

破顔一笑。

「ベルリン・フィルの中でソロを受けもつときと、ピアノやハーブや弦楽四重奏と室内楽をこなすときとは、当然ながら音の作り方が変わる。大ホールでコンチェルトを吹いた直後にチェンバロとバッハを共演したりもする。そのたびごとに、どれだけのボリューム感と方向性で空間に音を飛ばしていくかが問われます。1本の樹を想像してみてください。その幹からどう枝を伸ばし、葉を繁らせていくか……。この探求行為が本当にスリリングで、僕にとってフルートを吹く醍醐味なんですよ」

## ヨーロッパからラテンの世界へ 練られたプログラムで時代を体感

10月24日に開かれる演奏会は2部構成。休憩をはさみ前半と後半の曲目にそれぞれテーマ性をもたせるのはパユのプログラミングの常である。

「第1部の舞台は中央ヨーロッパ。ドイツのバッハに始まり、バルトクからノヴァーク、つまりハンガリーからチェコへと旅路が続きます。ノヴァークの娘さんから僕たちはいろいろと情報を得ることもできました。共産圏の時代のチェコで表現の自由を奪われていたことがあり、それが彼の作品の一面に反映されています。第2部はラテン・アメリカ。“古い世界”のヨーロッパから一転して“新世界”の音楽ですね」



【ギター】

クリスティアン・リヴェ  
Christian Rivet

フランス・メッツ地方音楽院でギター、指揮法、室内楽、和声、対位法を学び、同音楽院を首席で卒業後、1984年にパリ国立高等音楽院に入学。87年および88年にギターと室内楽でブルミエ・プリ(一等賞)を獲得。その後、E.パユをはじめとした錚々たるアーティストと共演を重ねている。文学にも深い関心を持ち、85年には詩作でトゥールーズ市主催国際コンクールの第1位を獲得している。2004年ソロCDデビュー。



演奏会の最後を飾るのはピアノソラの《タンゴの歴史》。フルートとギターのためのオリジナル作品としては最も人気の高い曲のひとつに数えられる。

「ピアノを紹介する上で最も適切な作品ともいえるでしょう。楽章順に1900年、1930年、1960年、そして曲が書かれた1980年代と、時代を追った構成に大きな意味があり、まるで4枚の写真さながら。仮にそれが日本でもヨーロッパでもよいのですが、20世紀の歴史と重ね合わせながら耳を傾けるのも面白いのではないかと思います。もちろん、ダンスの要素やエンターテインメント性もふんだんに盛り込まれていますが、それを通じて、社会情勢や価値観の変革までリアルに体感できる……」

カメレオンのように表情を変える音の探検家がナビゲートする、時空を超えた旅路。感性と知性の両方を刺激してやまないステージになりそうだ。

## エマニュエル・パユ(フルート) & クリスティアン・リヴェ(ギター) デュオ・リサイタル

日時：10月24日(日) 開演 15:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
曲目：J. S. バッハ：フルートと通奏低音のためのソナタ ハ長調 BWV1033  
バルトク：ルーマニア民族舞曲  
J. ノヴァーク：春の舞曲  
ヴィラ＝ロボス：花の分布  
ヴィラ＝ロボス：《ブラジル風 バッハ第5番》より《アリア》  
ヴィラ＝ロボス：モディニャ  
ヴィラ＝ロボス：前奏曲第1番  
ピアノソラ：タンゴの歴史

チケット(税込)：好評発売中  
一般：正面席6,000円  
メンバーズ：正面席5,500円  
※バルコニー席、学生席(バルコニー席)は予定枚数終了しました。



## 豊饒なベートーヴェンに出会える幸せ

庄司紗矢香のベートーヴェン、これだけでもうれしい演奏なのに、パートナーにイタリアの俊オジャンルカ・カシオーリを迎えての共演。これほど胸躍るコンサートはそうそうはない、と断言できるほどのオール・ベートーヴェン・プログラム。歴史に残る名演の証人になるのは客席の604人だ。

取材・文：片桐卓也 [音楽ライター] Photo：横田敦史

## 夢ふくらむ、憧れの カシオーリとの共演

ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタは作曲から200年ほどの時間を経ているのに、いまだにヴァイオリニストにとっての聖山として聳え立っている。いつかは、みんなその高峰を目指す。しかし、重要な問題はパートナーである。共にこの困難なルートを開拓してくれるピアニストがどうしても必要なのだ。ヴァイオリニスト、庄司紗矢香にとって、その理想のパートナーはイタリアの鬼才ピアニスト、ジャンルカ・カシオーリだった。若くして斬新な選曲の録音を発表し、日本公演ではシャープな表現力で多くの聴衆を驚かせた、あのカシオーリだ。

「私にとっては小さな頃から憧れの人でした。彼のベートーヴェンの録音は、常にインスピレーションと勇気を与えてくれました。イタリアでリサイタルの機会があるたびに、現地でのマネージメント担当者にジャンルカとの共演が出来ないかどうか、尋ねていたくらいです。しかし、ずっと実現しないままでした」

と、庄司。たまたまローマ・サンタ・チェチリア国立アカデミー管弦楽団との共演を経て、庄司のもとへ本拠地ローマでの室内楽シリーズへの出演オファーが届いた。ピアニストは音楽監督のアントニオ・パッパーノの予定。しかし超多忙のパッパーノとのスケジュールがなかなか合わない。そこで「ダメもと」と庄司はカシオーリに声をかけてくれるように要請したところ、なんと意外にもすんなりカシオーリから了解が取れた。「気難しい人だとか、みんながいろいろ言っ

ていたのですが、実際に会ってみるとフレンドリーで、お互いの考え方も非常によく似ていることが分かりました」

ふたりの音楽についての考え方、その方向性が同じベクトルを向いていたようだ。室内楽を共演した後に、ぜひリサイタルでベートーヴェンのソナタをという願いが実現した。「ベートーヴェンという作曲家の音楽のスタイル、様式についての考え方、そこから生み出される解釈。すべての点で共感できる存在でした。リハーサルが充実してただけでなく、もちろん本番での即興性もあり、常にベートーヴェンの音楽を生きているように表現できる、そんな経験でした」

## ベートーヴェンの 表現の大きさを奏でる

庄司にとってのひとつの理想的な演奏とは、過去の作品であれ、その作品がまさにいま生み出されたかのような新鮮さをもって表現され、それが聴き手に伝わることだと言う。ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタでそれが出来るというのは、希有なこと。しかし、カシオーリとの共演の中ではそれが可能になると言う。それはまさしく演奏の醍醐味だ。今回、彩の国さいたま芸術劇場でふたりが演奏するのはベートーヴェンの第5番「春」、第8番、第9番「クロイツェル」の3曲。

「ベートーヴェンという人の個性がよく表現されている作品ばかりだと思います。特に第5番はベートーヴェンの温かさを表現しています。ベートーヴェンはとても友人想いで、優しい一面を持っていたと言いますが、それを端的に表している作品です。第

9番は傑作として有名ですが、ヴァイオリンもピアノも、その当時の表現の枠を超えてしまうようなスケールの大きさを持っています。技術的にも難しい作品ですが、それ以上にベートーヴェンの表現意欲の大きさを伝えるのが至難の技だと思います」

庄司は13歳で最初にリサイタルを開いた時から、必ず演奏プログラムの中にベートーヴェンのソナタを入れてきた。理想的なパートナーを得て、彼女のベートーヴェンは新しく大きな第一歩を踏み出す。彩の国さいたま芸術劇場でその光景を目撃しよう。



【ヴァイオリン】  
庄司紗矢香 しょうじさやか

1999年、バガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールにコンクール史上最年少、また日本人としては初の優勝を獲得して以来、国際的なソリストとして活躍。オーケストラとの共演の他、リサイタルや室内楽にも力を注いでいる。ドイツ・グラモフォンと専属契約を結んでおり、今秋にはカシオーリとの新アルバムを発売予定。使用楽器は上野製薬会社の上野名譽会長より貸与された1729年製ストラディヴァリウス「Recamier」。

## 【ピアノ】 ジャンルカ・カシオーリ Gianluca Cascioli



1979年、トリノ生まれ。ペリオ、カーター、ポリニ等が審査員を務めるウンベルト・ミケーリ国際ピアノ・コンクールで1994年に優勝。以後、ヨーロッパと北米を中心とした主要音楽都市で演奏の場を広げ、アバド、ゲルギエフ、マーゼルといった錚々たる指揮者や、ベルリン・フィルをはじめとしたオーケストラと共演している。また、作曲家としても活躍。録音はドイツ・グラモフォン、デッカレコードからリリースしている。

## 庄司紗矢香(ヴァイオリン)&ジャンルカ・カシオーリ(ピアノ) デュオ・リサイタル

日時：10月31日(日) 開演15:00 会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

曲目：ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調 作品24「春」  
ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第8番 卜長調 作品30-3  
ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第9番 イ長調 作品47「クロイツェル」

チケット(税込)：

一般：正面席6,000円/バルコニー席4,500円/学生席(バルコニー席)2,000円  
メンバーズ：正面席5,500円 ※予定枚数終了しました。

# EVENT CALENDAR

2010.7.15-2010.9.30

7 July	
15 木	<b>PLAY</b> 松竹大歌舞伎 開演=昼の部13:00 夜の部17:00 会場=熊谷会館 ※詳細はP.26にて
16 金	
17 土	
18 日	<b>MUSIC</b> 新日本フィルハーモニー交響楽団 開演15:00 会場=埼玉会館 ※14:30~14:45指揮者によるプレコンサート・トークがあります。※詳細はP.26にて
19 月	
20 火	
21 水	
22 木	
23 金	
8 August	
1 日	
2 月	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
3 火	
4 水	臨時休館日(埼玉会館)
5 木	
6 金	<b>CINEMA</b> 彩の国シネマスタジオ「戦場でワルツを」 上映時間 10:50 / 13:35 / 16:10 / 18:55 ※詳細はP.26にて
7 土	<b>CINEMA</b> 彩の国シネマスタジオ「戦場でワルツを」 上映時間 9:50 / 12:25 / 14:45 / 17:05 / 19:40
8 日	<b>CINEMA</b> 彩の国シネマスタジオ「戦場でワルツを」 上映時間 10:00 / 12:35 / 16:10 ※12:35上映回終了後、フォトジャーナリスト・豊田直巳氏によるアフタートーク があります。(約60分間予定) <b>MUSIC</b> 熊谷会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラバンド! 開演15:00 ※詳細はP.18、26にて
9 月	
10 火	<b>PLAY</b> オックスフォード大学演劇協会(OUDS)「じゃじゃ馬ならし」 開演19:00 ※詳細はP.26にて
11 水	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演19:00 ※詳細はP.8～9にて
12 木	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演13:00
13 金	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演13:00
14 土	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演12:30 / 17:30 臨時休館日(熊谷会館)
15 日	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演12:30 / 17:30 臨時休館日(熊谷会館)
16 月	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演13:00
17 火	<b>DANCE</b> 熊谷会館バレエ・セミナー ※受講申込みは締め切りました
18 水	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演19:00 <b>DANCE</b> 熊谷会館バレエ・セミナー ※受講申込みは締め切りました 臨時休館日(埼玉会館)
19 木	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演13:00 <b>DANCE</b> 熊谷会館バレエ・セミナー ※受講申込みは締め切りました ※上級クラス公開レッスン見学会付中(申込方法はP.27にて)
20 金	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演13:00
21 土	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演12:30 / 17:30

22 日	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演12:30 / 17:30
23 月	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
24 火	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演13:00
25 水	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演13:00 / 19:00 臨時休館日(埼玉会館)
26 木	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演13:00
27 金	<b>PLAY</b> 彩の国ファミリーシアター 音楽劇「ガラスの仮面 ～二人のヘレン～」 開演13:00
28 土	<b>MUSIC</b> 光の庭プロムナード・コンサート 夏休みスペシャル! 開演14:00 出演=勝山雅世(オルガン) 鈴木智香子 & 阿部よしつぐ(おはなし) ※詳細はP.18にて
29 日	
30 月	
31 火	<b>MUSIC</b> 埼玉会館ランタイム・コンサート 第11回 N響メンバーによる木管五重奏 開演12:10 ※詳細はP.26にて
9 September	
1 水	
2 木	
3 金	<b>CINEMA</b> 彩の国シネマスタジオ「おとと」 上映時間 10:00 / 13:00 / 16:10 / 19:15 ※詳細はP.26にて <b>DANCE</b> dancetoday2010 開演19:30 ※詳細はP.14～15にて
4 土	<b>CINEMA</b> 彩の国シネマスタジオ「おとと」 上映時間 10:00 / 14:40 / 18:00 <b>TALK</b> 蛸川幸雄公開対談 NINAGAWA 千の目 第22回 笑福亭鶴瓶×蛸川幸雄 開演13:00 ※要申込、詳細はP.27にて <b>DANCE</b> dancetoday2010 開演15:00 <b>MUSIC</b> 小曾根 真の現在 Vol.1 ソロ×デュオ with 児玉 桃 開演15:00 ※詳細はP.26にて
5 日	<b>CINEMA</b> 彩の国シネマスタジオ「おとと」 上映時間 10:30 / 13:40 / 17:40 ※13:40上映回終了後、鈴木映画・鈴木文夫氏 & 映画評論家・石子順氏による ジョイント・トークがあります。 <b>DANCE</b> dancetoday2010 開演15:00 臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
6 月	
7 火	
8 水	
9 木	
10 金	
11 土	
12 日	
13 月	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
14 火	<b>PLAY</b> さいたまゴールド・シアター 第4回公演「聖地」 開演18:30 ※詳細はP.10～11にて
15 水	<b>PLAY</b> さいたまゴールド・シアター 第4回公演「聖地」 開演18:30 臨時休館日(熊谷会館)
16 木	
17 金	<b>CINEMA</b> 彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会 『葦牙 あしかびー こどもが拓く未来』 開演10:30 / 14:30 / 18:30 ※小池征人監督来館。10:30、14:30の回は上映終了後にトーク、18:30の 回は舞台挨拶後に上映。 ※詳細はP.26にて <b>PLAY</b> さいたまゴールド・シアター 第4回公演「聖地」 開演14:00
18 土	<b>PLAY</b> さいたまゴールド・シアター 第4回公演「聖地」 開演14:00
19 日	<b>PLAY</b> さいたまゴールド・シアター 第4回公演「聖地」 開演14:00
20 月	<b>PLAY</b> さいたまゴールド・シアター 第4回公演「聖地」 開演14:00
21 火	
22 水	<b>PLAY</b> さいたまゴールド・シアター 第4回公演「聖地」 開演18:30
23 木	<b>PLAY</b> さいたまゴールド・シアター 第4回公演「聖地」 開演14:00
24 金	
25 土	<b>PLAY</b> さいたまゴールド・シアター 第4回公演「聖地」 開演14:00 <b>MUSIC</b> 光の庭プロムナード・コンサート ～笛、さまざま～ 開演14:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ 出演=大塚直哉(オルガン) 菊池香苗(フルート、フラウト・トラヴェルソ) 曲目=オトテール:フルートと通奏低音のための組曲 ほか
26 日	<b>PLAY</b> さいたまゴールド・シアター 第4回公演「聖地」 開演14:00
27 月	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
28 火	
29 水	
30 木	

3才以上のお子さんから楽しんでいたいただける公演です。光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

## 前売りチケット発売情報(～2010.9.15)

### CINEMA

彩の国シネマスタジオ

### オペラ映画『カヴァレリア・ルスティカーナ／道化師』

『椿姫』のゼッフィレリ監督が若き日のドミンゴ主演で贈る、愛と裏切りの2つの物語…。



チケット発売日

一般・メンバーズ:7月17日(土)

日時=10月8日(金) 10:30 / 14:30 / 18:30  
9日(土) 10:30 / 14:30 / 18:30  
10日(日) 10:30 / 14:30 / 18:30  
11日(月・祝) 10:30 / 14:30

※10日(日)14:30上映回終了後、音楽評論家・國土潤一氏によるアフタートークがあります。

会場=彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

監督=フランコ・ゼッフィレリ 指揮=ジョルジュ・ブレートル

演奏=ミラノ・スカラ座管弦楽団・合唱団

出演=ブラシド・ドミンゴ ほか(1982年/イタリア・ドイツ/各70分)

料金=一般:前売2,300円/当日2,500円

メンバーズ、シニア券(60歳以上、障がい者の方):前売・当日2,000円

### PLAY

彩の国シェイクスピア・シリーズ第23弾

### 『じゃじゃ馬ならし』

チケット発売日

一般:7月31日(土) メンバーズ:7月17日(土)

詳細はP.12～13にて

### MUSIC

### 埼玉会館ニューイヤー・コンサート

東京交響楽団

飯森範親(指揮)

森 麻季(ソプラノ)

大谷康子(ヴァイオリン)

中井美穂(MC)



©林千秋



©Yuji Hori



新年の聴き初めは埼玉会館で。ソプラノ森麻季とヴァイオリニスト大谷康子がコンサートに華を添えます。

チケット発売日

一般:8月7日(土)

メンバーズ:7月31日(土)

日時=2011年1月8日(土) 開演15:00

会場=埼玉会館 大ホール

曲目=J. シュトラウスⅡ:皇帝円舞曲、ウィーンの森の物語、

喜歌劇(こうもり)より「侯爵様、あなたのようなお方は」、美しく青きドナウ ほか

料金=一般:S席5,000円/A席4,000円/B席3,000円/学生B席1,500円

メンバーズ:S席4,500円/A席3,600円/B席2,700円

【チケットの購入方法について】

【電話予約】チケットセンター

# 0570-064-939

10:00～19:00(休館日を除く) ※一部携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

### DANCE

アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル+ジェローム・ベル+アンサンブル・イクトゥス

### 『3Abschied ドライアップシート(3つの別れ)』

ベルギーを代表するダンス・カンパニー「ローザス」を率いるアンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルと、コンセプト・アーティストとしてヨーロッパで活躍中の振付家ジェローム・ベルが、マラーの大作《大地の歌》に挑む。世界有数の現代音楽アンサンブル ictus (イクトゥス) によりシェーンベルク編曲室内楽版が演奏される中、アンヌ・テレサ自身がソロ・パフォーマンスを披露。



©Anne Van Aerschot

チケット発売日

一般:8月28日(土) メンバーズ:8月21日(土)

日時=11月6日(土) 開演15:00、7日(日) 開演15:00

※両日とも終演後、ジェローム・ベルによるポスト・トークあり

会場=彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

出演=アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル アンサンブル・イクトゥス(音楽) ほか

料金=一般:S席6,000円/A席4,000円/学生A席2,500円

メンバーズ:S席5,400円/A席3,600円

### MUSIC

埼玉会館ランタイム・コンサート第12回

### 東京交響楽団メンバーによる金管五重奏

12月は東響メンバーによる金管五重奏。

楽しいクリスマスソングやミュージカルの名曲などをお届けします!

チケット発売日

一般:8月29日(日) メンバーズ:8月28日(土)

日時=12月10日(金) 開演12:10(終演予定13:00)

会場=埼玉会館 大ホール 曲目=もろびとこぞりて、《サウンド・オブ・ミュージック》より ほか

料金=全席指定1,000円

### MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ

### Vol.15 エフゲニー・スドビン

CDデビューで高い評価を受け、長らくその来日公演が待ち望まれていたロシアの新星がついに日本初登場!



チケット発売日

一般:9月4日(土) メンバーズ:8月28日(土)

日時=2011年1月22日(土) 開演15:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

曲目=スカルラッティ:3つのソナタ K.466・K.455・K.27

ショパン:バラード第3番 変イ長調 作品47、バラード第4番 へ短調 作品52

リスト:超絶技巧練習曲第11番「タケの調べ」

ラヴェル:夜のガスパール ほか

※出演者の希望により、当初発表のプログラムから変更となりましたので、ご了承ください。

料金=一般:正面席3,500円/バルコニー席2,500円/学生席(バルコニー席)1,000円

メンバーズ:正面席3,150円



【窓口販売】※休館日を除く

・彩の国さいたま芸術劇場 10:00～19:00

・埼玉会館 10:00～19:00 ・熊谷会館 10:00～17:00

【SAF Online Ticket】

一般発売初日10時より受付開始し、公演前日23:59まで受付いたします。

・財団ホームページ <http://www.saf.or.jp>

・携帯サイト <http://www.saf.or.jp/mobile/>

※利用登録が必要で(無料)。

## 発売中公演情報 (2010.7.15 ~)

### PLAY

#### 松竹大歌舞伎

日時=7月15日(木) 昼の部13:00 夜の部17:00 会場=熊谷会館  
 演目=昼の部:『勳進帳』 ほか 夜の部:『仮名手本忠臣蔵』 ほか  
 出演=松本幸四郎 中村魁春 市川高麗蔵 中村松江 澤村宗之助 松本錦吾 中村梅玉  
 料金=一般:特等席6,000円/一等席2,000円/おためし席1,000円  
 メンバース:特等席5,400円  
 ※当日は、熊谷駅〜熊谷会館間の送迎バスを運行します。

#### オックスフォード大学演劇協会(OUDS)

『じゃじゃ馬ならし』 ※英語上演/日本語字幕付き  
 日時=8月10日(火) 開演19:00  
 会場=彩の国さいたま芸術劇場 小ホール  
 出演=OUDS劇団員  
 料金=全席自由 一般:2,500円 学生:2,000円

#### 彩の国ファミリーシアター

音楽劇『ガラスの仮面 ~二人のヘレン~』  
 詳細は P.8 ~ 9 にて

#### さいたまゴールド・シアター 第4回公演『聖地』

詳細は P.10 ~ 11 にて

#### 彩の国さいたま寄席 四季彩亭

#### ~国本武春と若手精鋭落語会

日時=10月17日(日) 開演14:00  
 会場=彩の国さいたま芸術劇場 小ホール 出演=国本武春(浪曲) ほか  
 料金=一般:3,000円 メンバース:2,700円 ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者の方):2,000円  
 ※10月公演から、ゆうゆう割引の対象者は、65歳以上・障がい者の方に変更となりますので、あらかじめご了承ください。

### DANCE

#### dancetoday2010

詳細は P.14 ~ 15 にて

#### 公演詳細は、財団ホームページ

<http://www.saf.or.jp> にて

3才以上のお子さんから  
 楽しんでいただける公演です。

### MUSIC

#### 新日本フィルハーモニー交響楽団

日時=7月18日(日) 開演15:00 (指揮者によるプレコンサート・トーク 14:30 ~ 14:45)  
 会場=埼玉会館 大ホール 出演=クリスティアン・アルミンク(指揮) 南 崇音(ヴァイオリン)  
 曲目=モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲 第5番「トルコ風」  
 ベートーヴェン:交響曲第3番「英雄」 ほか  
 料金=一般:S席6,000円/A席5,000円/B席4,000円/学生B席2,000円  
 メンバース:S席5,400円/A席4,500円/B席3,600円 ※B席、学生B席残席僅少。

#### 熊谷会館ファミリー・クラシック夏休みオーケストラ!

日時=8月8日(日) 開演15:00 会場=熊谷会館  
 出演=熊森範親(指揮) 朝岡 聡(ナビゲーター) 山根一仁(ヴァイオリン) 東京交響楽団(管弦楽)  
 曲目=ハチャトゥリヤン:《仮面舞踏会》より(ワルツ) ラヴェル:ボレロ ほか  
 料金=一般:大人S席3,500円/A席3,000円 子ども(3歳~中学生)S席1,500円/A席1,000円  
 メンバース:大人S席3,200円/A席2,700円 ※3歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。

#### 埼玉会館ランチタイム・コンサート

#### 第11回 N響メンバーによる木管五重奏

日時=8月31日(火) 開演12:10(終演予定13:00) 会場=埼玉会館 大ホール  
 出演=神田寛明(フルート) 青山聖樹(オーボエ) 松本健司(クラリネット) 日高 剛(ホルン)  
 佐藤由起(ファゴット)  
 曲目=イベール:3つの小品 モーツァルト:ディヴェルティメント KV213 ほか  
 料金=全席指定1,000円

#### 小曾根 真の現在 Vol.1 ソロ×デュオ with 児玉 桃

日時=9月4日(土) 開演15:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
 曲目=モーツァルト:2台のピアノのためのソナタ ニ長調 KV448 (375 a) ほか  
 料金=一般:正面席5,000円 メンバース:正面席4,500円  
 ※バルコニー席・学生席(バルコニー席) は予定枚数終了いたしました。

#### NHK 交響楽団

日時=10月2日(土) 開演16:00 ※指揮者によるプレコンサート・トーク 15:25 ~ 15:40  
 会場=埼玉会館 大ホール  
 出演=現田茂夫(指揮) イングリット・フリッター (ピアノ)  
 曲目=ショパン:ピアノ協奏曲第1番 小短調 作品11 ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界から》 ほか  
 料金=一般:S席6,500円/A席5,000円/B席4,000円/学生B席2,000円  
 メンバース:S席6,000円/A席4,500円/B席3,600円

#### エマニュエル・パユ(フルート)&クリスティアン・リヴェ(ギター)デュオ・リサイタル

詳細は P.20 ~ 21 にて

#### 庄司紗矢香(ヴァイオリン) & ジャンルカ・カシオーリ(ピアノ)デュオ・リサイタル

詳細は P.22 ~ 23 にて

#### ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.14 アレクセイ・ゴルラツ

日時=12月5日(日) 開演15:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
 曲目=ショパン:華麗なる大円舞曲 作品18、幻想ポロネーズ 変イ長調 作品61 ほか  
 料金=一般:正面席3,500円/バルコニー席2,500円/学生席(バルコニー席)1,000円  
 メンバース:正面席3,150円

## THEATER BRIDGE

### 第22回彩の国さいたま芸術劇場シェイクスピア企画委員会が開催されました!

1998年にスタートした「彩の国シェイクスピア・シリーズ」を、一貫して企画してきた彩の国さいたま芸術劇場シェイクスピア企画委員会。英文学者の河合祥一郎先生を委員長に演出家、翻訳家、プロデューサーなど各界のシェイクスピアの権威が一堂に会し、上演時期から作品名・出演者、上演方法にいたるまで、専門分野の立場から意見交換がなされます。5月に開催された委員会では、第20弾から22弾までの結果報告と、今年10月に魅力的なキャストを迎えて上演する『じゃじゃ馬馴らし』について、海外での上演状況や戯曲の解釈など様々な角度から意見が出され、これを踏まえて演出を担う蛭川幸雄芸術監督も想像力を膨らませている様子。また、第24弾以降についても具体的な作品名が挙がり、上演に向けた準備が少しずつ始まっています。今後ますます目が離せない彩の国シェイクスピア・シリーズにどうぞご期待ください!



出を担う蛭川幸雄芸術監督も想像力を膨らませている様子。また、第24弾以降についても具体的な作品名が挙がり、上演に向けた準備が少しずつ始まっています。今後ますます目が離せない彩の国シェイクスピア・シリーズにどうぞご期待ください!

#### 蛭川幸雄公開対談シリーズ

#### NINAGAWA 千の目 第22回

#### 落語家 笑福亭鶴瓶 × 演出家 蛭川幸雄



【日時】9月4日(土) 開演13:00(約1時間)  
 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール  
 【定員】776名(全席指定・入場無料・抽選)  
 ※入場券の発送をもって抽選結果の発表にかえさせていただきます。※メンバーズの方への優先権あり。

しょうふくてい・つるべ◎1951年生まれ、大阪府出身。72年に6代目笑福亭松鶴に入門。以降テレビ・映画を中心に活躍し、現在は、「A-Studio」(TBS)「ザ!世界仰天ニュース」(NTV)「鶴瓶の家族に乾杯」(NHK) などラジオ・テレビを合わせて8本のレギュラー番組を持つ。昨年から今年4月まで行われた落語会・ジャパンツアー「WHITE」では、全国13ヶ所38公演、40000人を動員した。

#### 【申込み方法】 必要事項①~⑤をご記入の上、ハガキにてお申込みください。

- 記入事項  
 ①郵便番号・住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢 ④会員番号(財団メンバーの方のみ記入)  
 ⑤希望人数(1枚のハガキで2名様まで)
- 申込み締切 8月20日(金) 必着
- 問合わせ・申込み先  
 〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1 (財)埼玉県芸術文化振興財団  
 「千の目/9/4入場券集係」TEL.048-858-5507 メンバース事務局

### 蛭川幸雄芸術監督にケネディ・センターよりゴールド・メダルが授与されました!



彩の国さいたま芸術劇場芸術監督である演出家・蛭川幸雄氏に、米国の「ケネディ・センター」国際委員会芸術部門のゴールド・メダルが贈られ、同じくメダル受賞者の建築家・安藤忠雄氏、バイオリニスト・五嶋みどり氏、歌舞伎俳優・中村勘三郎氏とともに、5月に都内で行われた受賞式に出席しました。

「ケネディ・センター」は、世界中の素晴らしい舞台芸術を紹介することを使命として設立された、アメリカで初めての国立舞台芸術施設です。ゴールド・メダルは、世界的に顕著な成果を残した芸術家達に贈られており、過去、マイケル・ケイン、ジュディ・デンチ、ヴァレリー・ゲルギエフ、オリビア・ド・ハヴィランド、ジェレミー・アイアンズ、トレヴァー・ナンなどが受賞。蛭川芸術監督は、海外での上演作品、特に2008年に同センターで上演された舞台「身毒丸」が高い評価を受け、今回の受賞となりました。

### 熊谷会館バレエ・セミナー 上級クラスを一般公開します!



©池上直哉

熊谷会館バレエ・セミナー上級クラスのレッスンを公開します。専門的なレッスン風景を間近にご覧いただける貴重な機会です。バレエやダンスに関心のある方、経験を問わずどなたでもご見学いただけます。バレエを身近に感じてみませんか。

【日時】8月19日(木)13:00 ~ 16:30 【会場】熊谷会館 ホール(入場無料・要申込)  
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。※申込多数の場合、抽選をおこないます。抽選結果の発表は、入場券の発送をもってかえさせていただきます。

#### 【申込み方法】 必要事項①~⑦をご記入の上、ハガキまたは FAXにてお申込みください。

- 記入事項  
 ①郵便番号・住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号・メールアドレス ④年齢 ⑤希望人数  
 ⑥バレエ・ダンスの鑑賞・レッスン経験 ⑦応募理由
- 申込み締切 7月30日(金) 必着
- 問合わせ・申込み先  
 〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1 (財)埼玉県芸術文化振興財団  
 「熊谷会館バレエ・セミナー 公開レッスン見学」係  
 TEL.048-858-5506 事業部(舞踊担当) FAX.048-858-5515

## 彩の国シネマスタジオ LINE UP

【料金】大人一律1,000円/小中高生800円(当日支払いのみ) 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール  
 ※9月の埼玉会館上映会は、小中高生500円 ※9月の「葦牙」は、埼玉会館 小ホール  
 ※10月のオペラ映画は料金異なります。詳細は P.25 にて

### 8月



#### 『戦場でワルツを』

6日(金) 10:50 / 13:35 / 16:10 / 18:55  
 7日(土) 9:50 / 12:25 / 14:45 / 17:05 / 19:40  
 8日(日) 10:00 / 12:35 / 16:10  
 ※8日(日) 12:35上映回終了後、フォトジャーナリスト・豊田直巳氏によるアフタートークがあります。(約60分間予定)  
 【監督・脚本・製作】アリ・フォルマン  
 (2008年/イスラエル/90分)

©2008 Bridgit Folman Film Gang, Les Films D'ici, Razor Film Produktion, Arte France and Noga Communications-Channel 8. All rights reserved

### 9月



#### 『おとうと』

3日(金) 10:00 / 13:00 / 16:10 / 19:15  
 4日(土) 10:00 / 14:40 / 18:00  
 5日(日) 10:30 / 13:40 / 17:40  
 ※5日(日) ※13:40上映回終了後、鈴木映画・鈴木文夫氏&映画評論家・石子順氏によるジョイント・トークがあります。  
 【監督】山田洋次 【出演】吉永小百合 笑福亭鶴瓶 ほか  
 (2010年/日本/126分)

©2010「おとうと」製作委員会

### 10月



#### オペラ映画2本立て 『カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師』

8日(金) ~ 11日(月・祝)  
 【監督】フランコ・ゼッフィレッリ  
 【出演】プラシド・ドミンゴ ほか  
 (1982年/イタリア/ドイツ/各70分)

#### 埼玉会館 上映会 9月



#### 『葦牙 ーあしかびー 子どもが拓く未来』

17日(金) 10:30 / 14:30 / 18:30  
 ※小池征人監督来館。10:30、14:30の回は上映終了後にトーク、18:30の回は舞台挨拶後に上映。

【監督】小池征人(2009年/日本/113分)  
 ©記録映画「葦牙ーあしかびー」制作委員会

### ACCESS MAP アクセスマップ

#### 彩の国さいたま芸術劇場



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1  
 電話:048-858-5500(代) ファックス:048-858-5515  
 電車でのアクセス JR 埼京線と野本町駅(西口)下車 徒歩7分  
 バスでのアクセス JR 北浦和駅から西武バス大久保行き  
 「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

#### 埼玉会館



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4  
 電話:048-829-2471(代) ファックス:048-829-2477  
 電車でのアクセス JR 京浜東北線浦和駅(西口)下車 徒歩6分

#### 熊谷会館



〒360-0031 埼玉県熊谷市末広3-9-2  
 電話:048-523-2535(代) ファックス:048-523-2536  
 電車でのアクセス JR 高崎線熊谷駅(北口)下車 徒歩15分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

## ■サポーター会員

(財)埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、蛭川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのが(財)埼玉県芸術文化振興財団サポーター会員の皆様方です。

(株)与野フードセンター／(株)亀屋／武州ガス(株)／(株)松本商会／(有)香山壽夫建築研究所／埼玉新聞社／(株)テレビ埼玉ミュージック／埼玉りそな銀行  
(株)パシフィックアートセンター／アサヒ印刷(株)／FM NACK5／東京電力(株)埼玉支店／東京ガス(株)／カヤバ システム マシナリー(株)／(株)タムロン  
(株)十万石ふくさや／森平舞台機構(株)／日本データコム(株)／(株)ビルメン／東芝ライテック(株)／埼玉トヨタ自動車(株)／(有)齋賀設計工務  
ゲレッツ・ジャパン・スズゼン(株)／武蔵野銀行／浦和ロイヤルパインズホテル／(株)アルピーノ／国際照明(株)／(株)サイサン 会長 川本宜彦／三国コカ・コーラボトリング(株)  
埼玉スバル自動車(株)／(株)東玉／桶本興業(株)／(株)佐伯紙工所／(株)太陽商工／(株)しまむら／アイジャパン(株)／(有)六辻ゴルフセンター／不動開発(株)  
ピストロ やま／埼玉県信用金庫／(株)栗原運輸／彩の国SPグループ／(有)プラネット／関東自動車(株)／日本ピストンリング(株)／(株)クマクラ／(株)デサン／(株)中島運輸  
(株)国際ビジネス研究所／セントラル自動車技研(株)／(株)アズマン／太平洋セメント(株)／(株)ピー・アンド・イー・ディレクションズ／丸美屋食品工業(株)／日立キャピタル(株)  
ポラスグループ／ひがし歯科／(株)日産サテオ埼玉／埼玉トヨペット(株)／公認会計士 宮原敏夫事務所／(株)価値総合研究所／(株)埼玉交通／医療法人 顕正会 蓮田病院  
(株)ウイズネット／サイデン化学(株)／アイル・コーポレーション(株)／五光印刷(株)／旭ビル管理(株)／ヤマハサウンドシステム(株)／(株)エヌテックサービス  
(株)クリーン工房／(株)つばめタクシー／(株)サンワックス／(株)総合舞台／(株)タクトコーポレーション

H22.6.15現在／一部未掲載

【問合せ先】(財)埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507

## 劇場に集う、劇場で働く

### 第1回 舞台監督【技術スタッフ】



(左上から)大ホール舞台、舞台下手(客席から向かって左側)の袖中2階部分にある舞台機構の操作車。下手袖の舞台監督用の操作盤。  
(右上から)2階客席の正面奥にある「監督室」から見た舞台。操作盤のモニター。

舞台上でスポットライトを浴び、観客の拍手喝采を受けるのは出演者だが、作品をつくりあげた演出者、陰で支えるスタッフがいないければその喝采もあり得ない。今回から、そうした舞台の陰の立役者、劇場のスタッフとその仕事を紹介しよう。

さいたまネクスト・シアターの『真田風雲録』や、さいたまゴールドシアターの『アンドウ家の一夜』で舞台監督を務めたのが山田潤一。

戯曲を舞台化するのには演出者の仕事だが、その意図を立案、舞台進行をつかさどる公演中の最高責任者が舞台監督だ。

「つねに稽古場において、蛭川さんがどういう舞台をつくりたいのか、何を要求しているのかを理解し、それを形にしたり、舞台上でいかにスムーズに進行させるか、スタッフと綿密に打ち合わせします。といっても、すべてが予定にあるわけではありません。『真田〜』では水を含んだ分厚い泥を演技エリアに仕込んだのですが、台本にもそういう書きはなく、蛭川さんからの提案でした」  
どういった泥にするのか、泥との葛藤も青春の苦悩と挫折を映し出す演出のキーだとすれば、その「泥加減」も舞台監督の腕の見せどころとなる。

さいたま芸術劇場は大ホールも小ホールも「吊りもの」をはじめ、舞台上のものを動かすのはすべて電動。手動によるものはない。そこで重要になるのは、操作するオペレーターに指示するキュー(合図)だ。キューは舞台監督以外にもキュー出しを主とするスタッフが出すこともあり、いずれにしてもスタッフのチームワークが重要なことはいまでもない。

技術スタッフとして参加した『ヘンリー六世』では、間断なく赤バラ、白バラ、白ユリ、そして肉片が真っ白い舞台上に降り落ちてきたが、実はこの落下も計算されていて、絶妙のタイミングで落とすキューを出していたのが山田だった。

「天井にいる8人のスタッフはお互いに動きが見えませんが、微妙な時間差で落とすためには外からそれぞれにキューを出さなくてはいけなくなり、数千のキューを出しました」

山田の所属する技術支援担当グループは、劇場主催の自主公演だけではなく、貸劇場のときには側面からサポートする。

開場以来「創造する劇場」にかかわってきた山田は、スタッフがやりやすいよう、慎重さと大胆さをもってきょうも舞台裏に立つ。